

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
○安全安心で学べる環境があり、生徒・保護者・地域から信頼される学校 ○すべての大人とすべての生徒がにこやかに語り合える学校  ○基本的な生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲と志をもつ生徒 ○夢を抱き、粘り強く挑戦するたくましい体力と精神力を備えた生徒  ○生徒とともに汗を流し、生徒の目標となる教師(師弟同行) ○教育に対する使命感あふれる教師(率先垂範)		学力の向上	・家庭、保護者との連携が不可欠である。ノーメディア週間の小中連携での実施。自学ノートを基本とした、家庭学習の定着。 ・教師の授業力の向上をめざした研修の充実。
		不登校生徒の減少	・教育相談の充実といじめアンケートを実施して子どもたちの実態を把握、問題事案に関しての早期対応。 ・QUテストの分析とデータの職員間での共有と共通実践。 ・SCと連携して子どもの抱える問題の解消。
		集団づくり	・主体的な生徒会活動の実践。 ・グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングの研修と計画的な実施を行う。 ・「挨拶、掃除、時間厳守」を実践し規律ある生徒集団を目指す。
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
○確かな学力の向上 ・基礎的・基本的学力の向上 ・指導方法の工夫改善	授業形態の工夫と授業規律の指導と実践	・授業形態の工夫について講師の先生の指導を受けるなど研修を進めている。 ・SGNの授業公開で研修を行い多くの意見を聞き、研修を深めることができた。 ・自学ノートの提出については、90%を超えることができた。ノートの学習内容については、質量ともに向上が見られるようになった面と本来の家庭学習定着の目的に沿った活用がなされていない部分を改善したい。 ・授業がわかる生徒は増えているが、学力調査などでは数字として表れていない。生徒の理解を深める授業づくりが必要である。	
	授業改善の3つのポイントを踏まえた最低1回の公開授業		
	家庭学習定着のための「自学ノート」提出90%		
	授業がわかると答える生徒60%以上		
○集団づくり ・自分の思いが言える、存在を受け止めてくれる学級学年集団 ・安全で安心して生活できる学校	主体的な生徒活動を重視する学級・学年活動や行事の実践	・生徒会の役員を中心にリーダーの育成に力を入れている。行事や集会の企画運営が生徒中心で行われるようにしたい。 ・「挨拶、掃除、時間厳守」の達成率は目標には達していない。とくに「挨拶」については重点的に取り組んだ。これからも学校全体で挨拶の響きあう学校を目指したい。 ・QUテストの分析、情報共有のための時間確保はできている。その情報を活用した、学級経営と生徒理解を進めたい。 ・学活や道德の時間の有効活用が行われていない。年度当初にグループエンカウンターやSSTの計画を立てて実践していきたい。	
	基本的な生活習慣である「挨拶、掃除、時間厳守」ができたと思う生徒90%以上		
	QUテストの2回実施と職員間の共通理解と共通実践		
	グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングの計画的実施(学期2回以上)		
○いじめの未然防止と不登校生徒の減少への取組(やまびこ指導)	教育相談(学期1回)といじめアンケート(毎月1回)の実施	・アンケートの実施はできたが、教育相談に関しては行事等の準備、生徒指導等で十分な時間を確保することができなかった。 ・学期1回の集会は開くことができなかった。毎月10日のハイタッチの日で生徒が主体となり教員も交えての活動にすることができた。 ・SC、SSWとの連携は、生徒指導委員会でも実施。生徒や家庭の状況などの情報共有をしている。 ・QUテストの分析は1学期、2学期2回行い、学年会や研修会の中で要支援生徒の対応について協議している。	
	いじめゼロに向けての生徒主体(生徒会中心)の集会の実施(学期1回)		
	不登校生徒の減少に向けてのSC、SSWとの連絡会(週1回)		
	QUテストの分析と各学級の要支援生徒の変容追跡と効果があった取組の共有化		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
・いじめ、不登校については数の多い少ないの問題ではなく、常に生徒の状況に気を配り、教師が絶対に見逃さない気持ちで生徒に接することが大切である。 ・地域での中学生の問題行動にたいして、地域の方や教師で指導にあたるが、その指導を受け入れない生徒の態度が信じられない。教師の指導の難しさを感じた。110番通報や公園の防犯カメラの閲覧などの方策があるので、学校と地域が協力して、いかに生徒に対応していくかを考える必要がある。 ・地域での子どもたちと地域の住人との関係が希薄になっている、小学校の頃から子どもたちに声をかけて、信頼関係を築いていく必要がある。 ・授業参観等で子ども達の学習意欲の面が心配になる。地域性や家庭環境が大いに影響していると思うが、子ども達の様子を見るに付け、もっと活気(やる気)を引き出す工夫についての取り組みに課題がある。			